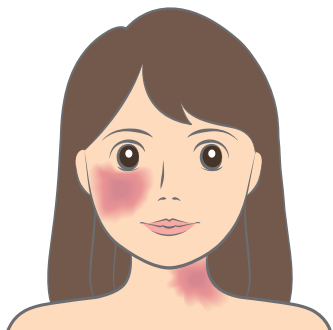


単純性血管腫



「レーザーを照射し、目立たなくさせていきます。以前は治療後に内出血することもありました。最近のレーザー療法は、内出血しづらくなりました。子どものころに治療しなかった、また治療したあざが大人になっても残っているなど気になっている人は、詳しい治療内容などを医師と相談してください。」

生まれつき顔面や首、四肢などに、平坦な赤あざができることがあります。「単純性血管腫は生まれつきのあざを、子どもに治療せずそのままにしたものの、大人になっても見えた目で悩む人も。」

この症状と治療方法について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。

「この症状については、濃い紫色まであり、その色は明るいピンク色からとも呼ばれます。あざの範囲や大きさは人によっても異なります。成人しても自然に消えることはありません。」

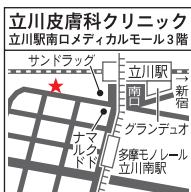
「原因はなんでしょか？」

「真皮の毛細血管が異常に増殖することが原因です。成長とともに体が大きくなると、あざの面積も拡大します。顔面や頭部に生じたものは成人になると盛り上がってくることもあり、治療が必要です。」

「治療法は？」

「レーザー療法を行います。血管腫に期間をあけてレーザーを照射し、目立たなくさせていきます。以前は治療後に内出血することもありました。最近のレーザー療法は、内出血しづらくなりました。子どものころに治療しなかった、また治療したあざが大人になっても残っているなど気になっている人は、詳しい治療内容などを医師と相談してください。」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ
TEL042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2020年8月28日付 「リビング多摩」に掲載されました